



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月31日

上場会社名 株式会社イエローハット 上場取引所 東
 コード番号 9882 URL <http://www.yellowhat.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 康生
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 木村 昭夫 (TEL) 03-6866-0163
 四半期報告書提出予定日 2018年11月7日 配当支払開始予定日 2018年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	63,916	0.4	2,952	△6.6	3,666	△0.1	2,525	12.6
2018年3月期第2四半期	63,643	7.1	3,160	70.2	3,668	56.2	2,242	39.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,453百万円(10.4%) 2018年3月期第2四半期 2,222百万円(50.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	109.57	109.21
2018年3月期第2四半期	97.29	97.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	102,849	75,080	72.9	3,250.62
2018年3月期	100,286	73,363	73.0	3,177.19

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 74,934百万円 2018年3月期 73,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	33.00	—	33.00	66.00
2019年3月期	—	36.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,916	2.9	9,452	△1.1	10,666	△0.2	7,025	2.7	304.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	24,961,573株	2018年3月期	24,961,573株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,909,089株	2018年3月期	1,909,610株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	23,052,104株	2018年3月期2Q	23,049,747株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

・当社は、2018年11月9日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

・「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調にあるものの、労働力不足による人件費上昇や物流費上昇などが見込まれることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当カー用品業界におきましては、タイヤやカーナビゲーション等の高単価商品の販売は消費者の慎重な購買姿勢の影響がみられる一方で、危険運転に関する報道を受けた前年10月以降、ドライブレコーダー販売の伸長が継続しています。

このような環境下におきまして、当社グループはカー用品・二輪用品等販売事業の一層の拡大を図るべく、タイヤを中心とした消耗品の拡販や、車検・钣金などのカーメンテナンスメニューを拡充してまいりました。また、新たな取組みとしてイエローハット店舗において「タイヤバンク補償」をスタートさせ、実店舗ならではのアフターサービスの充実による顧客満足向上に努めました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、前年同期間に値上げ前特需があったタイヤ販売減少の影響が卸売部門、小売部門ともに大きかったものの、子会社店舗の増加及びピットサービスの収益増加もあり、売上高は639億16百万円（前年同期比100.4%、2億73百万円増）、売上総利益は242億99百万円（前年同期比102.2%、5億12百万円増）となりました。

販売費及び一般管理費は、子会社店舗の増加に伴う人件費や賃借料等の増加により、213億47百万円（前年同期比103.5%、7億20百万円増）となりました。

その結果、営業利益は29億52百万円（前年同期比93.4%、2億8百万円減）、経常利益は36億66百万円（前年同期比99.9%、1百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては25億25百万円（前年同期比112.6%、2億83百万円増）となりました。

売上高の主な部門別内訳につきましては、卸売部門は220億24百万円（前年同期比94.6%、12億61百万円減）、小売部門は373億26百万円（前年同期比104.0%、14億22百万円増）となりました。

②当期のセグメント別概況

当第2四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント別の概要は次のとおりであります。

<カー用品・二輪用品等販売事業>

当第2四半期連結累計期間におけるイエローハット店舗の出退店の状況です。

国内では、2018年4月にトレッド大宰府店（福岡県）、小千谷インター店（新潟県）、茨木太田店（大阪府）、6月に平塚田村店（神奈川県）、7月に岸和田田治米店（大阪府）、トレッド京都木津川店（京都府）、日進竹の山店（愛知県）、8月に鈴蘭台店（兵庫県）、トレッド名古屋滝の水店（愛知県）、明石硯町店（兵庫県）、9月にトレッド須賀川店（福島県）、トレッド那須烏山店（栃木県）、トレッド常陸大宮店（茨城県）、トレッド大田原店（栃木県）、トレッド福島西店（福島県）、読谷大湾店（沖縄県）、トレッド前橋南店（群馬県）、久御山店（京都府）、トレッド鳥取境港店（鳥取県）の計19店舗を開店、2018年6月に湖西新居店（静岡県）、8月に滝の水店（愛知県）、9月に境港店（鳥取県）、五所川原店（青森県）、丹波氷上店（兵庫県）の計5店舗を閉店いたしました。

海外では、2018年9月にドバイ・ナド・アル・ハマー店（アラブ首長国連邦）を閉店いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、国内がイエローハット717店舗、2りんかん55店舗、SOX46店舗、海外がイエローハット4店舗の合計822店舗、イエローハット車検センターが7拠点となりました。

当第2四半期連結累計期間のカー用品・二輪用品等販売事業の売上高は、607億19百万円（前年同期比100.5%、2億95百万円増）、セグメント利益につきましては、23億95百万円（前年同期比90.9%、2億40百万円減）となりました。

<賃貸不動産事業>

当第2四半期連結累計期間の賃貸不動産事業の売上高は、31億96百万円（前年同期比99.3%、21百万円減）、セグメント利益につきましては、5億57百万円（前年同期比106.1%、32百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

①資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、512億49百万円（前連結会計年度末491億95百万円）となり、20億53百万円増加いたしました。これは主にたな卸資産が13億27百万円、その他（未収入金など）が11億83百万円増加した一方、現金及び預金が3億36百万円減少したことによります。

また、固定資産の残高は516億0百万円（前連結会計年度末510億91百万円）となり、5億9百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定などのその他（純額）が2億71百万円、建物及び構築物（純額）が2億54百万円増加したことによります。

この結果、総資産残高は1,028億49百万円（前連結会計年度末1,002億86百万円）となりました。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、220億92百万円（前連結会計年度末214億16百万円）となり、6億75百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が31億77百万円増加した一方、その他（未払金など）が19億79百万円、未払法人税等が6億92百万円減少したことによります。

また、固定負債の残高は56億76百万円（前連結会計年度末55億6百万円）となり、1億69百万円増加いたしました。

この結果、負債残高は277億68百万円（前連結会計年度末269億23百万円）となりました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、750億80百万円（前連結会計年度末733億63百万円）となり、17億17百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益25億25百万円を計上した一方で、配当金を7億61百万円支払ったことによります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3億26百万円減少し、70億62百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の収入は、27億96百万円（前年同期は7億82百万円の資金の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が35億6百万円、仕入債務の増加が17億89百万円、減価償却費が10億97百万円あった一方で、法人税等の支払額が21億84百万円、たな卸資産の増加が11億36百万円あったことによります。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は、22億35百万円（前年同期は24億58百万円の資金の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が23億44百万円あったことによります。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の支出は、8億88百万円（前年同期は6億93百万円の資金の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額が7億60百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月9日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,414	7,078
受取手形及び売掛金	10,259	9,947
たな卸資産	24,299	25,627
その他	7,600	8,784
貸倒引当金	△378	△188
流動資産合計	49,195	51,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,520	37,233
減価償却累計額	△20,383	△20,841
建物及び構築物（純額）	16,137	16,392
土地	15,481	15,478
その他	7,986	8,545
減価償却累計額	△4,678	△4,966
その他（純額）	3,308	3,579
有形固定資産合計	34,927	35,449
無形固定資産		
ソフトウェア	279	244
その他	96	81
無形固定資産合計	376	326
投資その他の資産		
投資有価証券	1,894	1,773
敷金	9,663	9,499
その他	4,519	4,854
貸倒引当金	△289	△303
投資その他の資産合計	15,787	15,823
固定資産合計	51,091	51,600
資産合計	100,286	102,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,412	13,590
未払法人税等	2,167	1,475
賞与引当金	996	1,077
ポイント引当金	676	766
その他	7,163	5,183
流動負債合計	21,416	22,092
固定負債		
退職給付に係る負債	249	185
リース債務	408	366
資産除去債務	2,530	2,750
その他	2,318	2,373
固定負債合計	5,506	5,676
負債合計	26,923	27,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	10,393	10,393
利益剰余金	51,400	53,164
自己株式	△2,253	△2,253
株主資本合計	74,612	76,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	583	497
土地再評価差額金	△1,907	△1,907
為替換算調整勘定	38	32
退職給付に係る調整累計額	△86	△65
その他の包括利益累計額合計	△1,371	△1,443
新株予約権	118	142
非支配株主持分	4	3
純資産合計	73,363	75,080
負債純資産合計	100,286	102,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	63,643	63,916
売上原価	39,856	39,616
売上総利益	23,787	24,299
販売費及び一般管理費	20,626	21,347
営業利益	3,160	2,952
営業外収益		
受取利息	43	35
受取手数料	214	244
貸倒引当金戻入額	—	176
その他	296	326
営業外収益合計	555	782
営業外費用		
支払利息	9	9
持分法による投資損失	22	38
その他	15	20
営業外費用合計	47	68
経常利益	3,668	3,666
特別利益		
固定資産売却益	0	1
その他	—	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	18	15
減損損失	—	34
災害による損失	—	58
敷金等解約損	—	51
特別損失合計	19	161
税金等調整前四半期純利益	3,649	3,506
法人税、住民税及び事業税	1,478	1,375
法人税等調整額	△70	△393
法人税等合計	1,407	981
四半期純利益	2,242	2,524
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,242	2,525

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	2,242	2,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△86
為替換算調整勘定	0	△0
退職給付に係る調整額	19	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△5
その他の包括利益合計	△20	△71
四半期包括利益	2,222	2,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,222	2,454
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,649	3,506
減価償却費	1,083	1,097
減損損失	—	34
災害による損失	—	58
敷金等解約損	—	51
のれん償却額	13	13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	33	△176
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	89	82
賞与引当金の増減額 (△は減少)	67	71
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△44	△42
受取利息及び受取配当金	△61	△54
支払利息	9	9
為替差損益 (△は益)	△2	△5
持分法による投資損益 (△は益)	22	38
固定資産売却損益 (△は益)	△0	0
固定資産除却損	18	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△250	△551
仕入債務の増減額 (△は減少)	△189	1,789
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,276	△1,136
その他	173	114
小計	2,338	4,914
利息及び配当金の受取額	42	35
利息の支払額	△7	△7
法人税等の支払額	△1,617	△2,184
法人税等の還付額	27	37
営業活動によるキャッシュ・フロー	782	2,796

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,531	△2,344
有形固定資産の売却による収入	11	31
無形固定資産の取得による支出	△30	△18
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による収入	—	34
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	25	10
敷金及び保証金の差入による支出	△147	△77
敷金及び保証金の回収による収入	66	102
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	151	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,458	△2,235
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△125
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△693	△760
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△693	△888
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,369	△326
現金及び現金同等物の期首残高	3,619	7,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,249	7,062

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社ホップス(2018年6月1日付で「株式会社新岐阜イエローハット」に社名変更)の発行済株式の過半数を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,424	3,218	63,643	—	63,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	60,424	3,218	63,643	—	63,643
セグメント利益	2,635	525	3,160	—	3,160

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,719	3,196	63,916	—	63,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	60,719	3,196	63,916	—	63,916
セグメント利益	2,395	557	2,952	—	2,952

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。